

## 主要生命保険会社の令和2年9月期決算の概要

### 1. 損益の状況

- 保険料等収入は、外国金利の低下や新型コロナの影響に伴う営業活動の自粛等による一時払外貨建て保険の販売が減少したことなどから、前年同期に比べ大幅に減少。
- 中間純利益（純剰余）は、販売減少に伴う代理店手数料の減少等により基礎利益が増加となったことに加え、債券の入替え等に伴う有価証券の売却等によりキャピタル損益が改善したことなどから、前年同期に比べ増加。

（単位：億円）

	平成30年9月期	令和元年9月期	令和2年9月期	前年同期比
保険料等収入	151,284	145,317	125,514	▲19,803
基礎利益	19,323	18,142	19,065	922
キャピタル損益	▲2,002	▲4,099	▲608	3,490
臨時損益	▲2,579	▲2,702	▲5,239	▲2,536
特別損益	▲3,219	▲869	▲1,790	▲920
中間純利益（純剰余）	7,910	7,084	8,042	958

### 2. 健全性の状況

- ソルベンシー・マージン比率は、株価回復に伴うその他有価証券評価差額の増加や、準備金の増加などから、前年度末に比べ26.8%ポイント上昇。

（単位：%）

	平成31年3月期	令和2年3月期	令和2年9月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	990.6	994.5	1021.3	26.8Pt

（注）日本生命、第一生命、明治安田生命、住友生命、太陽生命、大同生命、富国生命、大樹生命、朝日生命、ソニー生命、ジブラルタ生命、アクサ生命、アフラック生命、メットライフ生命、東京海上日動あんしん生命、第一フロンティア生命、三井住友海上プライマリー生命、プルデンシャル生命、かんぽ生命の19社を集計。